

保護者等からの事業所評価の集計結果（2019年度） 【公表】

公表：2020年3月13日

事業所名： さわらび園

保護者等数（児童数）28(30) 回収数26 割合 92.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学年が上がってくると、教室が狭く感じる事ができた。 ・園庭がなく、室内で過ごすことが多いので不健康。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を使った遊びで広いスペースが必要な際は、子どもやクラスの状態に応じて、広い部屋(研修室)の使用や外遊びの設定を考えていきたいと思います。 ・クラスの状態に応じて、適宜、歩行訓練を取り入れていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	7	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の入れ替わりが目立つ。 ・職員の人数が少ない。 ・職員の欠員の補充がされないままになっている。 ・専門知識が不足している。 ・相談できる先生が限られていて、他の人が相談していると待つかあきらめる感じになる。 ・職員の人数やベテラン経験者のバランスはとれていると思うが、子どもによって、もしくはきょうだい児が多いイレギュラーな日は足りなく感じる事がある。 ・きょうだい児もよくみて下さるし、ボランティアの方々もよく来てくださりうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を満たした職員配置にはなっていますが、出張（研修）や病欠などの際はフォローの体制を組んで行うようにしています。 ・職員のスキルについては、今後更に向上していけるよう努めてまいります。 また、職員それぞれがもつ専門性をチームの中で活かしていきながら、日々の療育にあたっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	3			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが本棚の上の物をさわることがあり、掲示物を触ってはがし、壊しそうになったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやクラスの状態を踏まえて、本人にわかりやすいような環境づくりを引き続き意識していきたいと思えます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除もいき届いていて、おもちゃやイスも拭かれていてありがたい。 ・すごくキレイにしてくださっていて、保護者もすごく心地よい。 ・トイレなどきちんと清掃されていて安心して過ごせている。 ・水回りで遊ぶことがあり、トイレ、洗面所の使い方ができないことがある。 ・おしっこや牛乳がこぼれても軽くふくだけなので、清潔とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、登園前と降園後に、掃除をしています。子ども達が過ごすにあたり、不衛生なことがないように努めていますが、頂いたご意見をいかして、今後改めて生活で心地よく過ごせる環境づくりをしていきたいと思えます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	0	0	0	・子どもの発達状況をよく知っていただいている上で、保護者の聞き取りの場も設けて計画表を作成して頂いてありがたい。	・保護者の思いを聞きながら、日々の療育場面での子どもの姿を保護者に具体的に(療育説明、日々の記録等)伝え、それを元に計画に反映していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」 「家族支援」 「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	1		・児童発達支援計画の作成については、園内で会議を開き、個々の子どもの支援について確認した上で、計画を作成しています。支援内容については、保護者にもわかりやすいように、具体的に記載するように心がけています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	2	0	0	・支援が計画に沿っているかどうかの程度は、職員の力量によるところがあるように思う。	・今後も子ども個々の課題を職員で共有しながら、丁寧な支援を行っていくよう努めます。職員の資質向上は引き続き努めます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	17	6	1	2	・室内遊びだけでなく、外遊びも取り入れてもらい、助かっている。 ・同じ内容が多い。 ・プレイ(積木、ジュニアソフト)の時間がもう少し減るといい。 ・先生によって工夫されている。	・子どもやクラスの状況によって、プログラムの内容を工夫していくと共に、その目的や意図を療育説明等で伝えていくよう努めます。 ・1日の生活の各場面ごとでも療育説明などを通じて、プログラムの目的等を改めて伝えていくよう努めます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	10	7	7	2	・少ないと感じる。 ・交流保育はあるが、一部の子どものみが対象となっている。 ・なかなか難しいとは思いますが、年に数回たくさんの子たちが交流できる日ももてるとよい。 ・全員の子どもが交流があるわけではないが、ビデオでいろいろ勉強できるのはとても勉強になる。	・交流保育については、療育での子ども個々の状況を確認しながら、受け入れ先の園とも相談をして、メンバーを決めています。フィードバックに関しては、全員の保護者を対象にビデオでの説明を行っています。それ以外の機会としては、交流保育先の園児が散歩などで、どんぐり広場に遊びに来ていたり、運動会などの行事にお誘いしたりしています。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2	0	0		・さわらび園の通園にかかわることや費用等についての説明は、入園面接の際に行っています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	1	0	0		・児童発達支援ガイドラインについては、新年度の初めにグループカウンセリングの中で、保護者に伝える機会を持っています。また、計画書の確認については、各保護者に個別で確認をしていただく時間をとっています。

	Z S [U -	@ "	< 5 I : F " 0 + "	" " O	M2 I = "	- k E	- k E N u C O 3 e t
S A B ? a u	§ Å > ë / 9 wè ° s ^ h V d c f ` P g i \ f i \ g k] i V ù ž 3 - M L 9 " K 2 / ž . M I A r : @ i V f l ^ T R i Y e i V					f i Å 3 1 6 9 " K , ; = < N i Ô : 4 K T R i Y e i V 3 ! K ? @ ! J 3 3 " / f i r ¾ ? D : = 5 i - ô ? Ÿ G ? Ÿ > 7 " 9 F i ä i > t O 9 u . J i Ī 2 6 9 " K /	f i . M I A r : @ i w è ° s ^ h V d c ? m . . ; / 9 i x V f l ^ T R i Y e i V N Å » / 9 " C 1 / C 3 > t O 9 i Ú Ä i ¥ ä i ? Æ { F à 6 9 " C 1 / f i x > 7 " 9 @ i Ī > @ x µ t i Ê > @ x Ç Ê { i C 3 i ° x { ù ? Æ { N à 6 9 " C 1 /
	ˆ 2 I , < F ? Ô • N § Å ; ø O ® " i , < F ? j « G í ? Ô • i y i > 7 " 9 " ó 3 : 4 9 " K 2					f i m ? ä Ÿ ; @ : 4 9 " K / f i , 5 I ? N Ī / G 1 " H # = P f 6 N à Ÿ 3 / 9 5 L 9 " K / f i ä Ÿ Ÿ ¶ 3 ø O ® 6 9 " = " , ; 3 é f i ! K /	f i , < F ? Ô • G § Å ? 2 I 1 4 / 3 , ; = < @ i Ó n † : " 1 K H # > / 9 " C 1 3 i - k E N Ç 6 9 i ² ú i Ó n † : / 6 2 J ; Ñ " N @ 2 K H # > ù E C 1 /
	ò < ö > i § Å > ë / 9 i G i l ¾ > ^ 1 K Ī µ ù ? ° s 3 - M L 9 " K 2					f i m ? ä Ÿ ; @ : 4 9 " K / f i æ J = " /	f i > , i ? Ä † > @ i , < F ? • N Ā ³ > † = 3 I Ī µ / 3 J i 1 . O ? N ò 5 H # > / 9 " C 1 / C 3 i : F " + 3 H # > i > t O 9 ¥ i ? Ä † N à 6 9 " C 1 /
	? { ? , p ? ° s G i § Å { ú ? } ± ù > H J § Å Ÿ ¶ ? ™ 3 ° s . L 9 " K 2					f i x µ t : F # Ī / , < F ; ? Ä † 3 ! K ; H " f i x F ª > @ Ī . = " 6 < i 7 I " ' ¿ 5 @ ! K ; 1 # ? : i x Ÿ ¶ ? " 3 ! J i Ī 2 6 9 " K /	f i - ½ : @ i § Å { ? , p ; " > % z G o p N 1 K F ? F ! J C 1 / f i ä š Ä G x , i i V f l ^ T R i Y e i V ? ³ = < i § Å Ÿ ¶ 3 ^ M J i N 1 K Ð G Æ { @ é 5 à ò . L 9 " C 1 /
	, < F G § Å 2 I ? ä i G Ö / L > 7 " 9 i è t ? è Ü 3 Ü . L 9 " K ; ; ; F > i , < F G § Å > È i f i ä . L i ä i G Ö / L N / 3 ³ > Ü ç 2 7 ÷ B > è t . L 9 " K 2						f i ä i G Ö / L 3 ! 6 3 ³ > @ i , N / 9 i 2 è t 1 K H # > / 9 " C 1 /
	, < F G § Å ; ? k 1 ? ä ó G Ñ ø í 3 E ? 3 = . L 9 " K 2						f i § Å > @ i ñ G ' J ? ä § Å > ½ - ù N ø O K H # > / 9 " C 1 /
	ò < ö > { G a l c ` l W ù : i , p ~ G - ½ ò i è Ü ú ? Ñ G - > ^ 1 K Ā ; v ? > x N , < F G § Å > ë / 9 Ö / 9 " K 2						f i 3 M 2 J 8 I " / ª Ÿ ; ˆ Á 4 6 4 ; L 3 5 > = K / f i - ½ ò ú @ € U d X > ^ Á N / 9 " C 1 / f i æ - / 9 " K Ø ? Æ ^ ¼ ? G a l c ` l W ? } à N / 9 " C 1 / C 3 i Ā ; v > x @ a l c ` l W > © / 9 " C 1 /
	¥ Ø Ñ ? Æ J j " > È ð k . L 9 " K 2						f i Q _ i \ ? Ä @ i X b a : Ä Ö 3 ^ L K ? : i Š / " /

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	6	1	0	・地震や火災の避難訓練は、定期的に行われているが、不審者侵入など防犯に関する訓練は行われていないので、あってもよい。	・防犯訓練については、職員間での確認および想定訓練は行っていますが、子どもも含めた防犯訓練については、今後の検討課題としていきたいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	0		・引き続き、内容の工夫をしながら行っていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3	0	1	・毎日行くのをすごく楽しみにしている。 ・楽しみにしている時もある。 ・嫌がる時もある。 ・本当の気持ちは本人にしかわからない。	・子どもたちが安心して過ごせる場所になっていくよう、引き続きプログラムの工夫や丁寧なかかわりを意識していきたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	0	・支援は大変満足ですが、もう少し親の会の仕事が減ると嬉しい。	・子どもへの支援はもちろんですが、保護者の方の思いもじっくりと聴きながら、共に子どものことを考えていきたいと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（2019年度）

【公表】

公表：2020年3月13日

事業所名：さわらび園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	0	・大型遊具での遊びの設定などは広い部屋を使用するなど、子どもの人数と活動内容によって部屋の使い方を工夫している。	
	②	職員の配置数は適切である	12	0	・パート職員を雇用し、市基準以上の職員配置をしている。	・配置基準は満たしているが、職員の出張（研修）や病欠が重なったときには、職員体制が厳しい状況はある。パート職員での増員はしているが、さらなる人員の加配については、市への予算要望も含めて検討していきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	0	・子ども本人の場所(靴箱、ロッカー)をマークなどを使って本人にわかりやすいように工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	0	・支援前と支援後には、清掃を行い、子どもたちの活動に向けて環境を整えている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	1	・療育計画や月案を通して療育目標を立てて行っている。振り返りについては、会議等で随時行い、次の行動目標を立て、実践できるように努めている。	・実践していることについて、個々の職員への意識づけについては、引き続きの課題としていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	1	・自己評価及び保護者からの事業所評価を実施している。結果については、保護者にフィードバックすると共に、職員には周知と改善に向けての話し合いの機会をもっている。公表については、園内で閲覧できるようにし、ホームページでの公開を行っている。	
	⑦	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	5	・今年度は厚労省の研究事業の外部評価のトライアルに協力をし、その結果を職員間で共有した。	・第三者による外部評価は、今後の検討課題としている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	・事業所内で、子どもの発達についてや救急救命、防犯等の研修を行っている。 ・事業所外の研修に職員を参加させている。	・基本的な研修内容に加えて、職員の状況によって事業所内の研修内容を工夫していくことを考えていきたい。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	・子どもの観察と保護者の思いを踏まえて、計画に反映させている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	3	・年1回、園内で新版K式発達検査を実施している。その結果は後日保護者にフィードバックしている。	・発達検査での子どもの発達状況を個別支援会議などの際に、意識的に職員で共有するように努める。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「家族支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0	・児童発達支援計画の策定のために、個別支援会議を開き、検討をする機会をつくっている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	・クラス会議などを通じて、支援経過の確認を行っている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	5		・クラスチーフが主となって、活動プログラムを立てているが、それをクラス職員で共有する工夫をしていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0		・子どもやクラスの状況によって、柔軟に内容を工夫していくことが必要である。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	0		・子ども個々の発達状況を細かく把握するために、活動内容のさらなる工夫が必要である。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	・支援開始前に朝の会議を行い、確認を行うようにしている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	7	5	・会議がない時は、必要な事項をクラスごとに共有する時間をもつようにしている。	・事前に決まっている会議日以外で、必要性がある場合は、振り返りを行う時間をもつようにするなどの工夫をしていく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	・日々の記録を元に、モニタリングを行い、次の計画に反映させている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	0	・基本的に半年ごとにモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	・園内での個別支援会議に相支援専門員の参加をお願いしている。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12	0	・必要に応じて、保健センター等の関係機関と連携をとっている。	
	㉓ ※医療ケア児				
	㉔ ※医療ケア児				
関係機関や保護者との連携	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	・移行にあたって、児童の記録を移行先に提出している。 ・移行後はアフターケアとして移行先を訪問し、子どもの状況を確認するようにしている。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	・児童記録の提出による情報共有や、就学後は訪問によるアフターケアを行っている。	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	0	・定期的に、また必要に応じて、東部地域療育センターと情報共有の機会をもつなど、連携をはかっている。	
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	0	・近隣の保育園と交流保育の機会を持っている。	
	㉙ （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	0	・担当職員が参加している。	・協議会に参加していない職員にも、活動内容の周知を図っていく。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保育者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	・日々の振り返りや記録での確認をし、会議時には子どもの課題や支援について話し合う機会を持っている。	
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	12	0	・週に1回、グループカウンセリングを行っている。また、月1回、外部講師を招いての研修会を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③② 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	・契約時の両親面接で行っている。	
	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	1	・計画作成時とモニタリング時に、個別での説明を行い、同意を得ている。	
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	・グループカウンセリングと個別相談の中で対応している。	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	0	・保護者会総会への出席と、保護者会役員からの相談にのるなどの支援を行っている。	
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	・保護者からの相談等があった場合は、速やかに対応することを心がけている。クラスの担任に申し出があった場合には主任を通して個別相談等につないでいる。	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	・行事予定等はクラスへの掲示や、配布物等での対応をとっている。	
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意している	12	0	・職員への周知徹底を図っている。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	・保護者の状況に応じて、個別で説明をするなどの配慮をしている。	
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	12	0	・盆踊りやバザーなど、地域啓発を意図した催しを企画したり、町内会への部屋貸しを行っている。		
非常時の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	3	・防犯訓練を年1回、行っている。	・一部整えられていないマニュアルもあるため、今後整備をしていく必要がある。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	・月1回、避難訓練を行っている。	
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	0	・保護者からの聞き取りを行い、記録に残している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	5	・該当の児童については、保護者にアレルギー対応表を提出してもらい、それに基づいて食事提供をしている。	・アレルギーの有無と内容については、全職員に周知をしているが、アレルギー対応表はクラスチーフを中心にした把握にしているため、全職員への周知が図れていない。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	2	・その都度、報告書を作成し、閲覧可能な状況にしている。内容によっては、振り返りの時間を持つようにしている。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	3	・虐待防止や権利擁護等、様々な研修の機会を法人でもっている。	・職員には、子どもへの支援や対応について権利擁護の視点を意識して話し合う機会をつくっていく。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	9	3	・身体拘束の記録については、様式を整備し、職員への周知を図っている。	・保護者には、契約時に話をするようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。